

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-375-3001（月潟図書館）

年度	平成29年度		
施設名	新潟市立月潟図書館	所管部・課	中央図書館
施設の設置目的	図書館法第10条の規定に基づき、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に寄与することを目的とします。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H29.5.31
歳入	白根に含む	正職員	1	修正日	
歳出	白根に含む	非常勤	1	評価日	H30.6.29

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	多様化する市民ニーズに応えるため、必要な資料・情報を幅広く収集・提供します。	個人への貸出冊数(冊)	27,494	26,854	20,995	27,500	23,482	「図書館の基本サービス」(AV(視聴覚)資料を除く)	・資料収集、保存、提供	地域の人口や図書館来館者の減少により、貸出点数も減少したと考えられます。	C:未達成
2	市民	市民や地域の身近な課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実します。	レファレンス(調査相談)件数(件)	116	89	57	100	40	図書館ビジョンの図書館像「課題解決型図書館」	・レファレンスや所蔵調査について掲示物等で周知	インターネットの普及や情報媒体の多様化などが未達成の主な理由と考えます。	C:未達成
3	市民	特色ある地域づくりに寄与するため、地域に関連する資料を収集し、整理に努めます。	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	1,912	2,071	2,153	2,200	2,203	図書館ビジョンの図書館像「分権型図書館」	・郷土・行政資料の収集・整理	郷土資料の出版および行政資料の発行に関する情報を集め、資料の収集・整理を行いました。	B:達成
4	市民	子どもが読書に親しむ機会の充実に努めます。	事業参加者数(人)	425	465	608	620	391	図書館ビジョンの図書館像「学・社・民融合型図書館」	・おはなしのじかん、春・秋読書の週間事業、チャレンジ教室等の開催、赤ちゃんタイムの実施	H29目標値の設定後、参加者数のカウント方法に変更がありました。そのため前年度より参加者数が減少しました。「赤ちゃんタイム」や「おはなしのじかん」の参加者数は増加しました。	C:未達成
5	市民	市民参画と協働を推進するため、ボランティアと連携協力し事業を実施します。	ボランティア活動延人数(人)	115	133	58	124	65	図書館ビジョンの図書館像「パートナーシップ型図書館」	・読み聞かせボランティアの養成 ・読み聞かせボランティアの活動実践の拡大	目標とする人数には届きませんでした。ボランティアと連携・協力し、事業を実施しました。	C:未達成
6	市民	生涯を通じて利用いただける図書館を目指します。	図書館入館者数(人)	25,717	24,342	20,641	25,000	21,538	図書館ビジョン評価指標	・「おはなしのじかん」 ・春・秋読書週間事業 ・赤ちゃんタイムの実施	地域の人口減少などにより、来館者数が減少していると考えます。	C:未達成
7	業務	図書館システムの円滑な運営により、利便性の向上を図ります。	予約件数(件)	5,145	5,380	4,233	5,400	5,527	図書館ビジョンの図書館像「課題解決型図書館」(団体予約を除く)	・予約等図書館システム機能の利便性PR・普及	利便性の高い図書館システムが利用者に浸透し、予約件数の増加につながったと考えます。	B:達成
8	人材	職員の職務遂行能力(専門的能力・接遇)の向上を図ります。	専門研修への派遣及び内部研修受講職員数(人)	9	11	10	12	9	図書館ビジョンで掲げる「効率的・効果的な運営」	・専門研修等への参加	勤務体制の都合により、受講できる研修が少なく、目標人数を達成できませんでした。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価(評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>平成27年3月に策定された「新潟市教育ビジョン 第3期実施計画」「新潟市立図書館ビジョン 後期施策・事業計画」、「第二次新潟市子ども読書活動推進計画」に基づき、地域性や独自性等を加味して市民の読書活動を推進するための事業を実施します。</p> <p>図書館利用の利便性を各種広報媒体を通して市民へPRし、ニーズに応える資料や情報提供を行います。</p> <p>専門研修等の参加により、職員の職務遂行能力の向上に努めます。</p>	<p>・情報媒体の多様化や人口減少により、入館者数や貸出点数が伸び悩んでいます。</p> <p>・定例事業「赤ちゃんタイム」「おはなしのじかん」が定着してきました。今後も市民の読書活動を推進するための事業を実施し、さらなる利用増加に取り組みます。</p>